

知事コメント

令和5年4月27日(木)

- 1 沖縄県の人口10万人当たりの新規陽性者数は4月26日時点で90.01人、全国平均の55.41人を大きく上回っており、直近1週間の前週比が1.3前後で推移するなど、県内における新規陽性者数は徐々に増加しております。
- 2 また、病床使用率は、本日時点で11.9%となっており、医療が直ちにひっ迫する状況ではないものの、感染者数の増加に伴って先週の木曜日と比較しますと、3.9ポイント上昇していますので、今後の動向を注視する必要があります。なお、沖縄本島地区の医療フェーズを、本日より3Aから3Bへ引き上げることとしましたので、併せてお知らせします。
- 3 今週から大型連休がスタートします。楽しみにされている県民の皆さまも多くいらっしゃると思います。しかし、連休中は様々なアクティビティを通して、県民の活発な交流が行われることから、連休後に感染者数が増加する傾向がみられます。
- 4 昨年、県内では3月下旬から感染が拡大しはじめ、8月までの長期間にわたり、人口10万人当たりの新規陽性者数が全国1位の状況が続くなど、大きな感染を経験しました。
昨年秋から今年の春先にかけては、新規陽性者数は全国でも低位にとどまり、小康状態にありましたが、4月以降、感染が拡大しています。連休後の感染拡大を抑えるためには、連休期間中における県民一人一人の過ごし方が重要となります。
ゴールデンウィークを安心して楽しく過ごすためにも、引き続き基本的な感染対策をお願いします。
- 5 さて、ゴールデンウィーク期間中は休診となる医療機関も多く、例年、救急外来への受診が増加し、医療機関の大きな負担となっています。そのため、新型コロナだけでなく、一般医療を含めた医療を守るため、軽症の場合や検査目的での救急病院の受診は控えるなど、適正な救急受診にご理解とご協力をお願いします。
- 6 発熱や喉の痛みなどの風邪症状がある場合は外出を控え、無理をせずに、軽症の場合は自宅で療養をしてください。また、急な発熱などに備え、市販の解熱剤や抗原検査キットなどを備えておくことを推奨します。

- 7 高齢者や基礎疾患がある方、妊婦など重症化リスクのある方や、症状が重いなど、受診を希望される場合はまずはかかりつけ医にご相談いただき、受診医療機関に迷う場合は発熱コールセンター(098-866-2129)へご相談ください。コールセンターはゴールデンウィーク期間中も24時間対応しています。また、5月3日から5日までの3日間、診療にご協力いただける発熱外来医療機関のリストを沖縄県ホームページやリッカに掲載しますので、診療をご希望の方は、電話連絡の上、受診してください。
- 8 小さなお子様をお持ちの保護者におかれては、急な発熱など、体調不良時の対処に迷うときは、こども医療電話相談(#8000)へご相談ください。
- 9 ワクチン接種につきましては、一般の方を対象としたオミクロン株対応2価ワクチンの接種は、5月7日で終了します。オミクロン株対応2価ワクチンを未接種の方は、重症化予防等の観点から、個別医療機関で早めのワクチン接種をご検討ください。
- 10 新型コロナは、5月8日から感染症法上の位置づけが、現在の「2類相当」から「5類」へ移行しますが、高齢者など重症化リスクの高い方が死亡に至ることもある、決して侮ることはできない感染症です。

県民の生命と健康を守りながら、平時の社会経済活動を取り戻すためには、県民一人一人が、発熱等の体調不良時は外出を控え、これまでに身につけた手洗いや換気、推奨される場面でのマスクの着用など、基本的な感染対策を継続することが重要です。感染拡大を抑えるためにも、基本的な感染対策を行った上で、心身のリフレッシュを図ってまいりましょう。